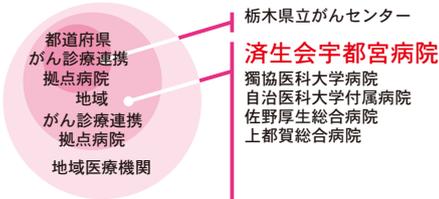


地域がん診療連携拠点病院

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関や他のがん診療連携拠点病院との連携を密にして、より良いがん診療を提供していきたいと考えています。当院では1階「がん相談支援センター/医療相談・看護相談室」で、専門的知識を有するスタッフが、がんに関するさまざまな質問や相談におこたえています。



医療機能評価認定病院

医療機能評価とは、『財団法人医療機能評価機構』が医療機関の第三者評価を行い、質の高い医療サービスを提供していくための支援を行うことを目的としています。当院は、平成10年に栃木県で初めて認定を受け、以後5年毎に更新認定を受けております。最近では、平成25年2月に4回目の更新審査を受け、認定されました。



地域医療支援病院

地域医療支援病院は、他の病院または診療所から紹介された患者さまに対して医療を提供していること、医療機器などを地域の医療機関と共同利用できること、救急医療を担っていること、地域の医療従事者のために研修を行っていること、などの役割があり、都道府県知事の承認を受けます。

当院は「地域と共に進化し続ける病院」のビジョンの下、急性期医療・救急医療を担い、ますます信頼される病院を目指していきます。

リレーエッセイ

テレビ体操



副院長

小林 健二

テレビ体操を始め、これ1年になります。小学校時代の夏休みは朝6時半からラジオ体操をしていましたが、大人になってからはラジオ体操とも縁遠くなっています。歳をとってくると早起きになり、夏は5時前、冬でも6時前には目が覚めます。夏は体を動かすこともできませんが、冬はまだ外は暗く億劫です。少しは体を動かすことが良いとは思っても、暗い中を散歩に出る気力はなく、1年ほど前から女房に勧められてテレビ体操を始めました。毎朝6時25分から10分間、教育テレビで、体操のお姉さんたちがやるのを見ながら一生懸命に気合を入れるわけでもなく、動かぬ体をいい加減に動かしています。それで特にか、筋力が増したとかは

テレビ体操を始め、これ1年になります。小学校時代の夏休みは朝6時半からラジオ体操をしていましたが、大人になってからはラジオ体操とも縁遠くなっています。歳をとってくると早起きになり、夏は5時前、冬でも6時前には目が覚めます。夏は体を動かすこともできませんが、冬はまだ外は暗く億劫です。少しは体を動かすことが良いとは思っても、暗い中を散歩に出る気力はなく、1年ほど前から女房に勧められてテレビ体操を始めました。毎朝6時25分から10分間、教育テレビで、体操のお姉さんたちがやるのを見ながら一生懸命に気合を入れるわけでもなく、動かぬ体をいい加減に動かしています。それで特にか、筋力が増したとかは

健康のため(ゴルフのため)に積極的に筋力アップとか、柔軟体操とか気合を入れてやってみますが、もともと飽き性のため長続きしませんでした。まったく積極的でないのですが、朝6時25分になると女房がテレビの前に陣取り、犬もテレビを見てごろんごろんと自分なりの体操を始めれば否応なしにお付き合いをしなければなりません。しかし効用はそれなりにあるようです。人間、何事においても、毎日の生活で大きな負担にならない程度のことを続けることが、実は大切なのかもしれないと感じています。

県内初

DPC病院群Ⅱ群に指定されました

当院は平成26年4月1日、厚生労働省よりDPC病院群Ⅱ群に指定されました。

平成24年度の診療報酬改定において、厚生労働省は、全国のDPC対象病院を機能や役割に応じて、Ⅰ群からⅢ群の3つに分類しました。

- Ⅰ群…大学病院本院群(80病院)
- Ⅱ群…大学病院本院に準じた診療機能を有する病院群(99病院)
- Ⅲ群…その他の急性期病院群(1,406病院)

DPC病院群Ⅱ群とは、一定以上の基準(「診療密度」「医師研修」「高度な医療技術」「重症患者に対する診療」)を実施している病院となります。

引き続き、地域の皆さまに高度急性期医療を提供し、「医療の質、満足度の向上」に日々励んでまいります。



編集後記

みやのわ 編集スタッフの



春になり、新しい年度が始まりました。入学・入社・異動…など、生活スタイルや職場が変化された方も多いかと思いますが、様々な環境が変わる春は何か新しいことに挑戦したくなる季節ですね。

みやのわも、「医療機器めぐり(薬役)」に立つ!薬のあれこれ「みやのわ情報局」など新しい企画に挑戦しています。「もつと」皆さまのお役に立ちたい「もつと」病院の情報を発信したいという想いから、編集委員全員で考えた企画です。今後、より良い情報を提供できるように、読者の方々の視線を大切にしながら、頑張っていきたいと思っております。

そして、おかげさまで「みやのわ」は11歳になりました。これからもどんどん成長させていきたいと思っております。

最後になりますが、第43号をお読みいただき、ありがとうございます。